

## 優等列車の席種設定最適化に向けた 需要特性分析

中川伸吾 柴田宗典 渡邊拓也 深澤紀子 鈴木崇正 尾崎尚也

優等列車において、指定席・自由席といった席種ごとの両数（供給座席数）は、列車系統ごとに概ね固定されていることが多くなっています。しかし旅客ニーズは季節や曜日、時間帯、区間等により異なるため、供給と需要が合致せず、利便性低下や収入逸失が起こることがあります。

これを解決するため、需要推計モデルの構築と席種配分の最適化による座席運用効率の向上を目指して、①慢性的に混雑が起きている在来線特急列車における日・席種間の需要差に着目した分析、②席種選択の要因分析のための仮想選択調査、を実施しました。その結果、指定席と自由席それぞれの需要に、日や時間帯による特徴があることを

確認しました。また、座席指定に対する支払意志額は概ね現行の座席指定料金程度である一方、性・年代・乗車時間・同行人数による差があること（図）、指定席より自由席に

価値を見いだす旅客が一定数いることなど、需要推計モデル構築に活用できる需要特性を得ました。

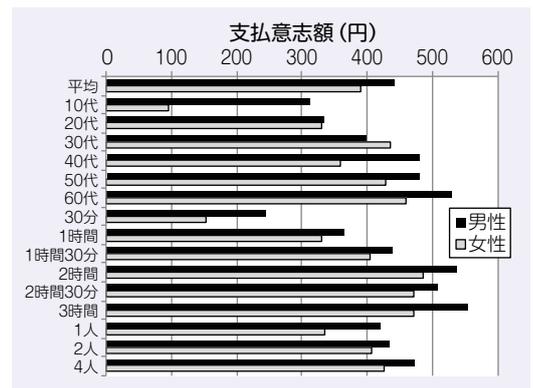


図 座席指定に対する支払意志額